

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 30 年度

		担当課	こども課				
基本事項	補助金(事業)名	ありあけ母親クラブ活動費補助金			整理番号	1007	
	根拠法令等				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第8章 健康で生きがいある生活を支える	予算科目	3 款 2 項 1 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第4節 子育て支援の充実	区分	団体の運営費に対するもの			
事業概要等	補助金交付の対象(団体名等)	ありあけ母親クラブ			実施期間	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	<p>(目的) 地域における児童をもつ母親等の連帯組織(母親クラブ)の活動を促進することにより、児童福祉の向上を図る。</p> <p>(背景) 上記の目的達成のため、昭和54年11月に結成された「ありあけ母親クラブ」に対し、「地域組織活動育成事業」として補助金を支出。平成19年度までは、国県の補助事業(各1/3)であったが、平成20年度から市単独補助となり、併せて補助金を10%削減している。さらに、平成27年度から補助金を10%削減している。</p> <p>なお、ありあけ母親クラブは、児童館と合同で各種行事等を実施している。</p>					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	ありあけ母親クラブの会員数や参加者の増員を図り、家庭における子育てを支援し、また、母親クラブの活動等を通して、地域全体で子育てを推進できるよう児童福祉の向上に努めたい。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	<p>(対象・積算基礎)</p> <p>ありあけ母親クラブ(平成30年4月1日現在、会員38人)の活動に対し、助成しており、国県補助事業の対象であった時の補助単価189千円の81%となる153千円を支給している。</p>					
事業費等の推移	年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		170	153	153	153	153
	① 団体等事業費(千円)		411	334	303	217	228
	歳入内訳(千円)	会費等	24	20	20	23	25
		前年度繰越金	5	25	21	16	17
		市補助金	170	153	153	153	153
		その他の助成金	20	20	20	20	20
その他雑収入		217	137	105	22	13	
次年度繰越金(②-①)		25	21	16	17	-	
29年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目			金額	項目			金額
各種行事費(グリーン作戦・もちつき・クリスマス等)			102				
備品購入費(インバトドライバ、フードドライバ等)⇒児童館へ			40				
例会			22				
研修会費			19				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input type="radio"/> 意図した効果があがっている <input checked="" type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない	事業効果が数字として出てこないのが、詳細な分析はできないが、児童館と合同で行う各種行事等を通じて、地域における子育て支援対策として効果があると思われる。
	<input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている	保育園・認定こども園等に比べると在宅で子育てをしている世帯に対しての経費(予算)は少額であり、在宅の子育て世帯を含めた活動を活発にしている母親クラブに対して、市の支援は必要であると思われる。
	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	現在の方法で問題ないと思われる。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     総 合 評 価                 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	在宅の子育て世帯へのありあけ母親クラブの貢献度は多大であり、継続的な支援が必要である。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	活動実績から子育て支援に一定の効果が見込まれる。補助金以外の財源もあり運営努力が見られる。継続実施が妥当と判断した。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持                        ⇒ 予算措置額の増減                        0千円	
備 考	

( ありあけ母親クラブ活動費補助金 )